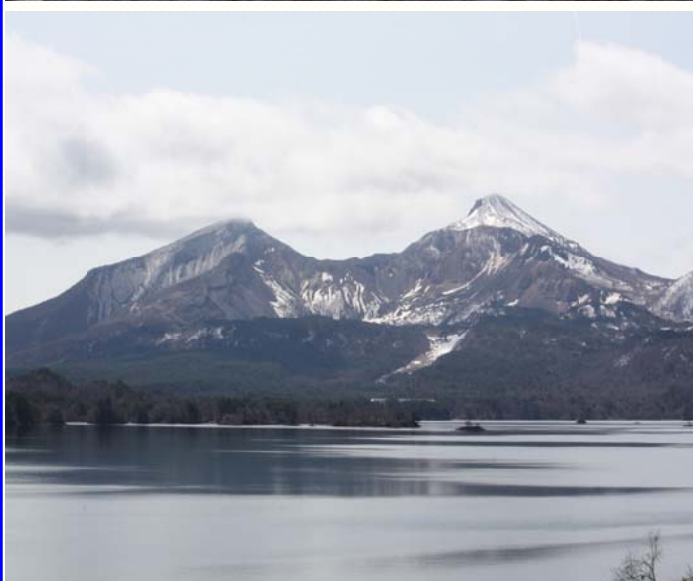


# 管内の百名山 「磐梯山」



## 裏磐梯・檜原湖(野鳥の森周辺)

例年5月の第二週に山開きが行われ、今年は5千人を超える登山者が訪れており、当署からは管轄する猪苗代森林事務所森林官が国有林のPRを含め参加しました。地元猪苗代町によれば、昨年は3万人を超える登山者が訪れています。

磐梯山周辺には、猪苗代湖や、裏磐梯の檜原湖を含め多くの湖沼群等があり、観光シーズンには、訪れる多くの観光客を楽しませています。

特に磐梯山の裾野は中傾斜地となっていることから、多くのスキー場がありウインタースポーツの一大基地となっており、県内でも歴史のある猪苗代スキー場は、表磐梯の国有林をレクリエーションの森(野外スポーツ林)として昭和34年から利用しています。

平成20年シーズン中の猪苗代スキー場周辺のスキー客入込数は47万人を記録しており、当署では、今後とも自然観賞、スキー及び登山等森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として利用の推進を図ることとしています。

また、磐梯山は、「会津山地緑の回廊」として、生物多様性の維持向上を図るため、貴重な野生動物の生息環境へ配慮しながら適切に森林の維持管理を行うこととしています。

会津森林管理署庁舎から遠望する磐梯山は、裾野から穏やかに新緑が進み、活火山とは思えない優しい表情をしている今日この頃です。

(会津森林管理署広報広聴連絡官)

「会津磐梯山は宝の山よ・・・」と民謡でも有名な磐梯山(標高1,819㍍)は、昔から会津の人々からふるりの山として愛されています。

主峰磐梯山は、全国第4位の広さをもつ猪苗代湖(面積104平方キロメートル)の北にそびえているほか、赤埴山(1,430㍍)、櫛ヶ峰(1,636㍍)を含めて「磐梯山」と称されています。

猪苗代湖に面した南側は表磐梯と呼ばれ、会津富士ともいわれているように裾野が広がる美しい姿を見せています。反面檜原湖に面した北側は裏磐梯と呼ばれ、明治21年の噴火によって山容が一変して荒々しい姿を見せています。



磐梯山と猪苗代湖(天神浜から)



磐梯山ブナ林(八方台)